

高津高校 SSH 通信



Kozu Science Labo 科学実験講座

12月6日、20日に Kozu Science Labo 小中学生向け科学実験講座を開催しました。この事業では、本校の科学部の生徒が TA となって、地域の小中学生対象の科学実験教室を行い、地域の小中学生の科学的リテラシーを向上させることや本校生徒をリーダーとして育成することを目的としています。

今年は、「みえないものを見てみよう」というテーマのもと、2つのことを行いました。

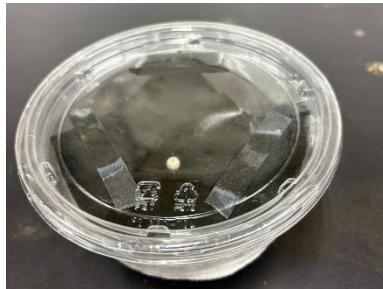
①ブラックボックスの中身を当ててみよう！

段ボールで作られたブラックボックスの中には、文房具やたわし、スライムやぬいぐるみなど、大きさ、形、触れた時の感触がそれぞれ異なるものを入れました。それらを、ブラックボックスに開けられた穴からストローを差し込んだり、中身の陰のシルエットを見ることで当てていくというものです。



②霧箱を作って宇宙線（放射線）を見てみよう！

普段見ることのできない「宇宙線（放射線）」を「霧箱」をつくって観察しました。まず、クイズ形式で宇宙線について学んだうえで、霧箱制作に取り掛かりました。プラスチックの



容器に黒い紙を貼り、エタノールを加えてから、ドライアイスで冷やします。過飽和状態となったエタノールに放射線が当たることで、白い線となって見えるようになります。エタノールが過飽和状態になるまでに少し時間がかかるので、小中学生は待ちきれない様子で観察を続けていました。ようやく観察できた時には嬉しそうな声で「見えた！」と報告してくれて、科学部員一同うれしくなった瞬間でした。

KSL を通じて、小中学生は、宇宙線などの「みえないものを見る」というサイエンスの姿勢について学ぶことができ、科学に関する興味関心を強めることができたと思います。また、本校の科学部の生徒たちは、小中学生が楽しめる活動について試行錯誤したことや、分かりやすく伝えることの難しさを痛感する経験を通じて、コミュニケーション能力やリーダーシップを伸ばすことができました。来年の KSL もぜひ楽しみに待っていてください！